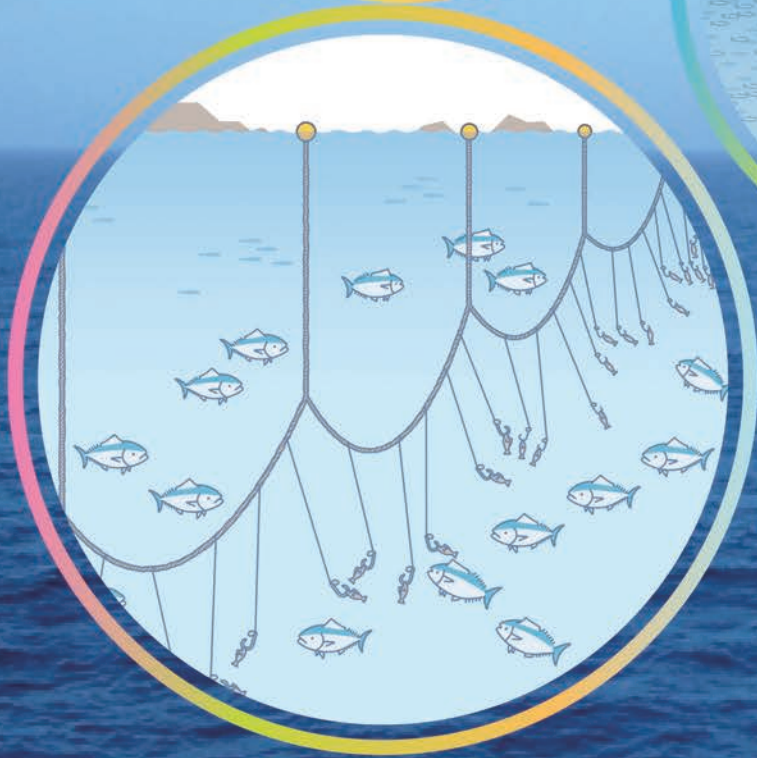
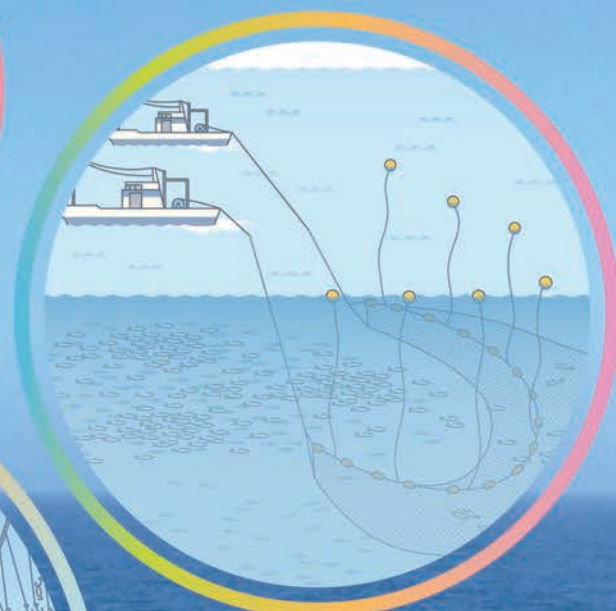
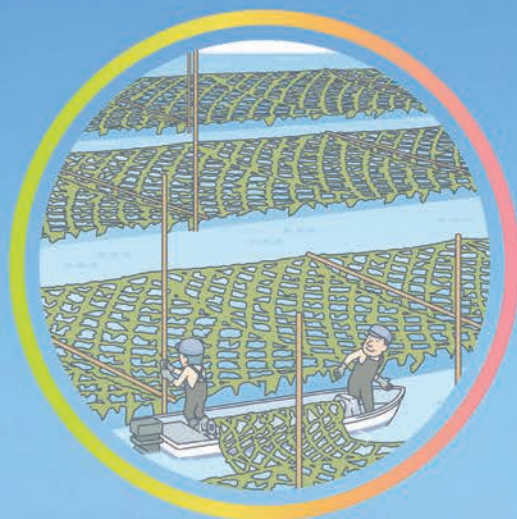


平成 29 年度

海運・水産関係団体連絡協議会

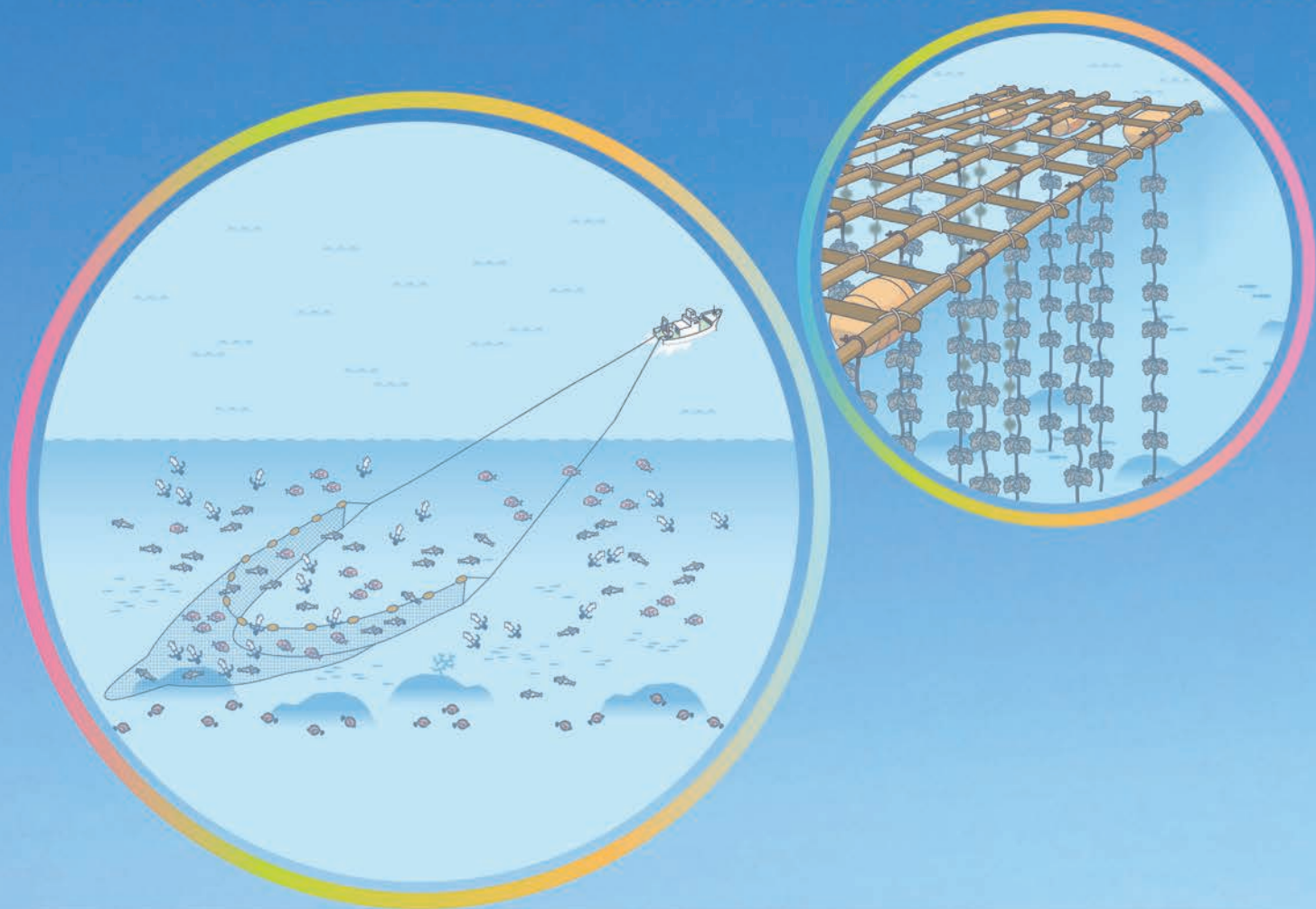
# 瀬戸内海西方海域 漁業操業情報図



公益社団法人 日本海難防止協会



# 瀬戸内海西方海域漁業操業情報図の目的



この漁業操業情報図は瀬戸内海西方海域（海上交通安全法の適用海域）で行われている主な漁業操業に関する情報図であり、海運関係者及び水産関係者の方々がこの情報図を利用することによって、瀬戸内海西方海域における船舶航行の安全性を向上させることを目的として作成しました。

なお、この情報図は瀬戸内海西方海域で行われている主な漁業操業の特徴であり、この情報図以外にも漁業操業活動が行われており、すべての漁業操業活動が記載されてはおりません。

この情報図を利用することで安全航行につながり、瀬戸内海西方海域における海運・水産双方の安全な海域利用の一助となることを願うものです。

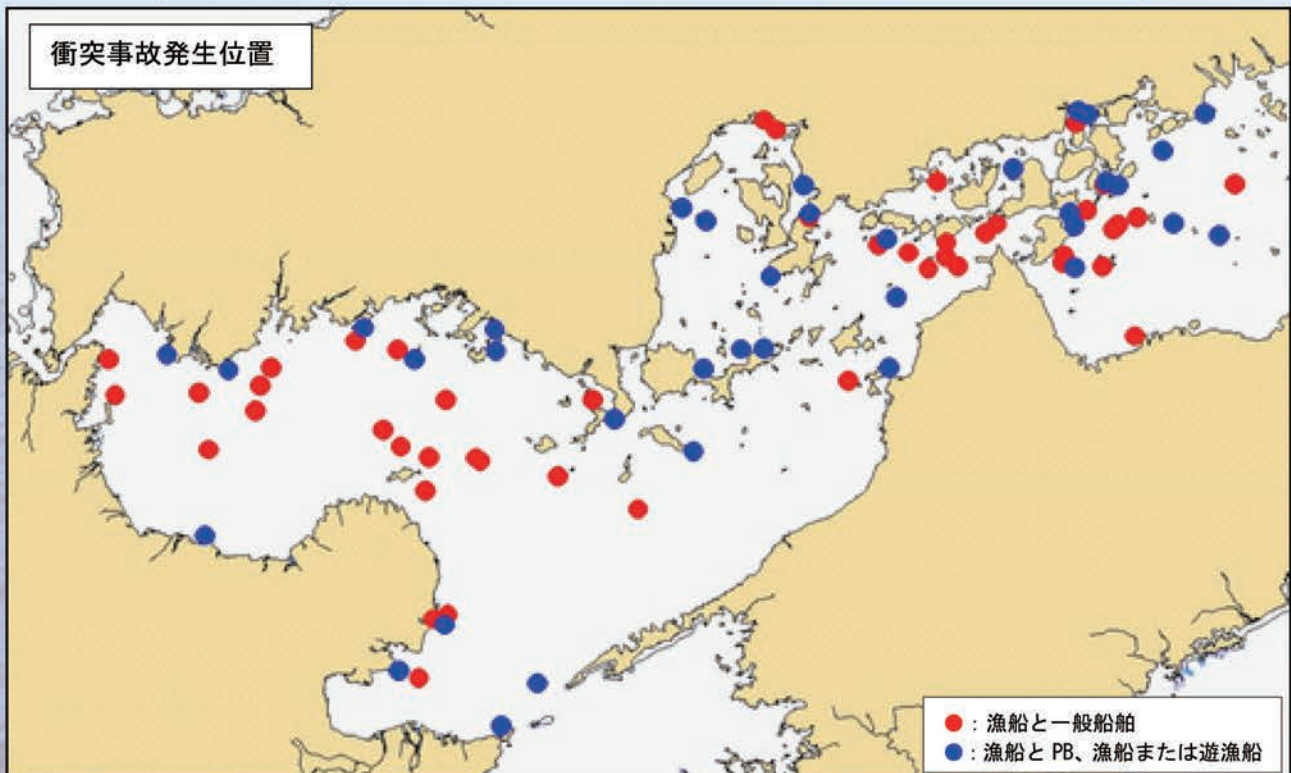
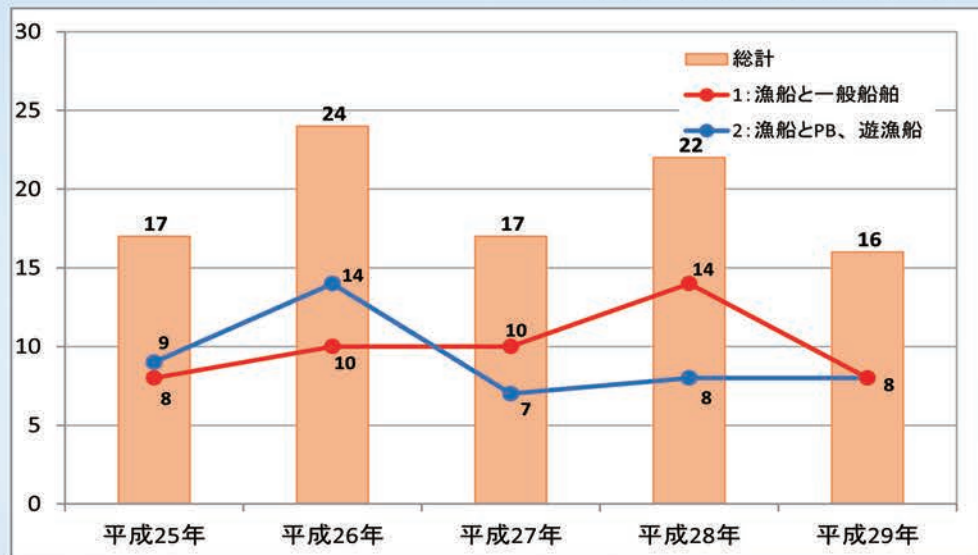


# 瀬戸内海西方海域における 漁船と一般船舶との海難発生状況

瀬戸内海西方海域で発生した漁船の衝突事故を見ると、平成25年1月1日～平成29年12月31日の5年間で96件発生しています※。

そのうち漁船と一般船舶の衝突事故が50件、漁船とプレジャーボート（PB）、漁船または遊漁船との衝突事故が46件でした。

※海上保安庁交通部安全対策課提供





# 小型機船底びき網漁業

## 操業中の主な特徴等

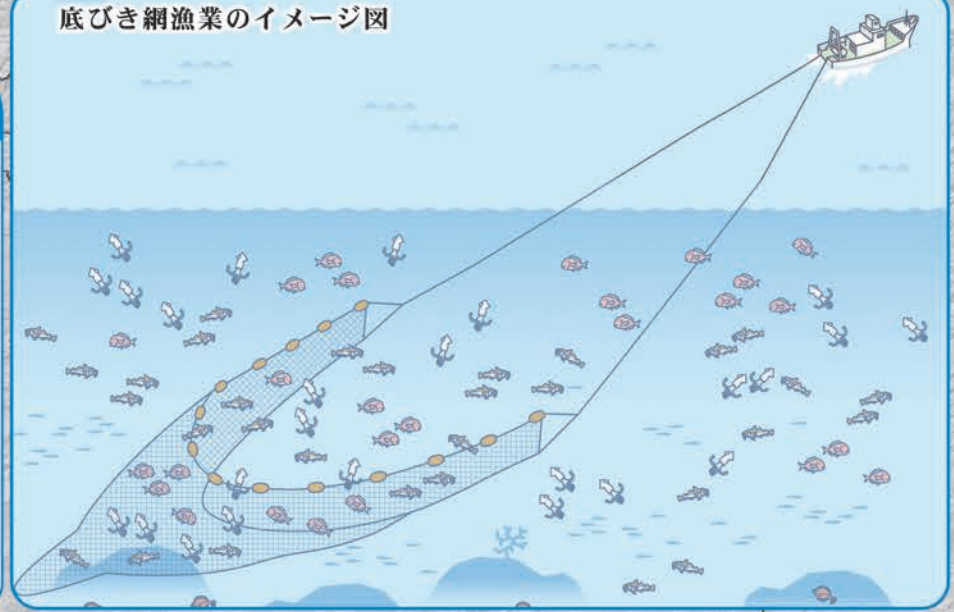
- ・揚網中の漁船は、**見張りが十分にできない**ことがあります**注意が必要です**。
- ・曳網、揚網中の漁船は急に舵を切ると転覆の可能性があるため**操船の自由が利かず、避航動作が困難**な場合があります**注意が必要です**。
- ・揚網中の漁船はワイヤーの張りや海底障害物への網のかかり等から、**後進することがあり注意が必要です**。
- ・**投網直後の漁船は急に動き出す**ことがあります**注意が必要です**。
- ・**揚網直後の漁船は急に増速する**ことがあります**注意が必要です**。
- ・航海灯等の他に**黄色などの回転灯**を点けている漁船が多く、**見張りの目安**になります。

## 小型機船底びき網漁業とは

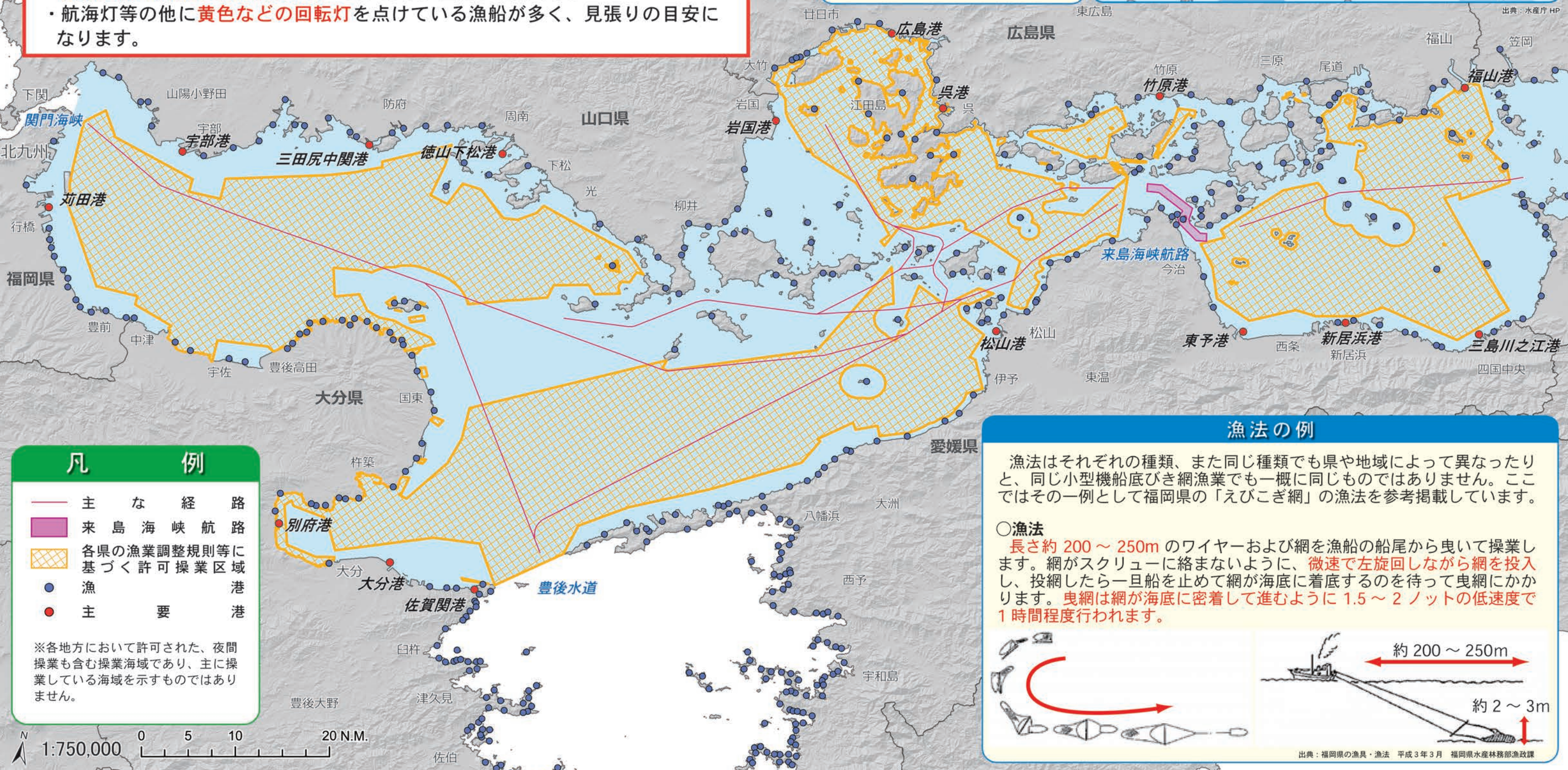
小型機船底びき網漁業とは、漁船の船尾から海底に接するように網をひき、魚介類を獲る漁です。

瀬戸内海西方海域で行われる小型機船底びき網漁業は、主に1～2名が乗船する5トン未満の漁船で行われ、地域によって時期、時間帯は様々です。

底びき網漁業のイメージ図



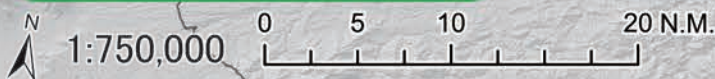
出典：水産庁 HP



## 凡 例

- 主 な 経 路
- 来 島 海 峡 航 路
- 各県の漁業調整規則等に基づく許可操業区域
- 漁 港
- 主 要 港

※各地方において許可された、夜間操業も含む操業海域であり、主に操業している海域を示すものではありません。

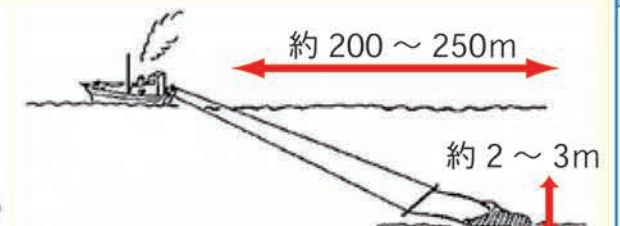
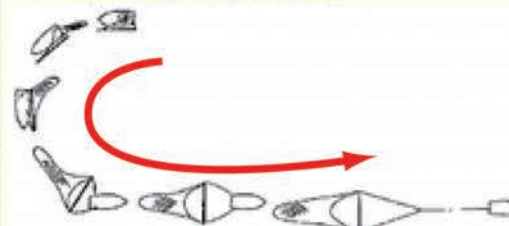


## 漁法の例

漁法はそれぞれの種類、また同じ種類でも県や地域によって異なったりと、同じ小型機船底びき網漁業でも一概に同じものではありません。ここではその一例として福岡県の「えびこぎ網」の漁法を参考掲載しています。

### ○漁法

長さ約 200～250m のワイヤーおよび網を漁船の船尾から曳いて操業します。網がスクリーンに絡まないように、**微速で左旋回しながら網を投入**し、投網したら一旦船を止めて網が海底に着底するのを待って曳網にかかります。曳網は網が海底に密着して進むように**1.5～2ノットの低速度で1時間程度行われます**。



出典：福岡県の漁具・漁法 平成3年3月 福岡県水産林務部漁政課



# 機船船びき網漁業

## 操業中の主な特徴等

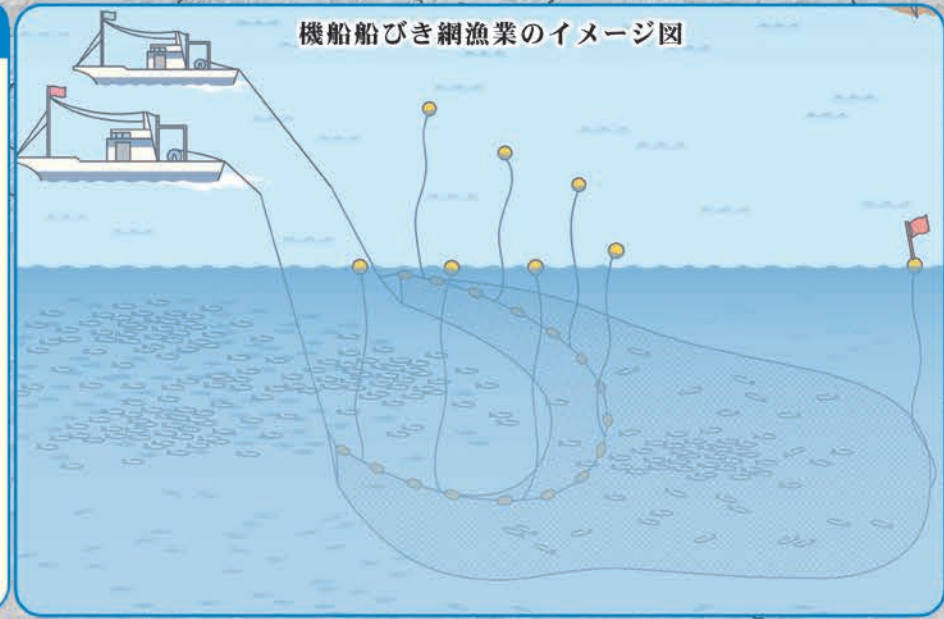
- ・揚網中の漁船は、**見張りが十分にできない**ことがあります**注意**が必要です。
- ・曳網中および揚網中の漁船は急に舵を切ると転覆の可能性があるため**操船の自由が利かず、避航動作が困難**な場合があります**注意**が必要です。
- ・2隻で曳網している場合、**その間を航行すると非常に危険**です。
- ・**網口には浮標が設置され、また網の後端には旗のついた浮標が設置されている**場合があります。**漁船と浮標の間を航行すると非常に危険**です。
- ・航海灯等の他に**黄色などの回転灯**を点けている漁船が多く、**見張りの目安**になります。

## 機船船びき網漁業とは

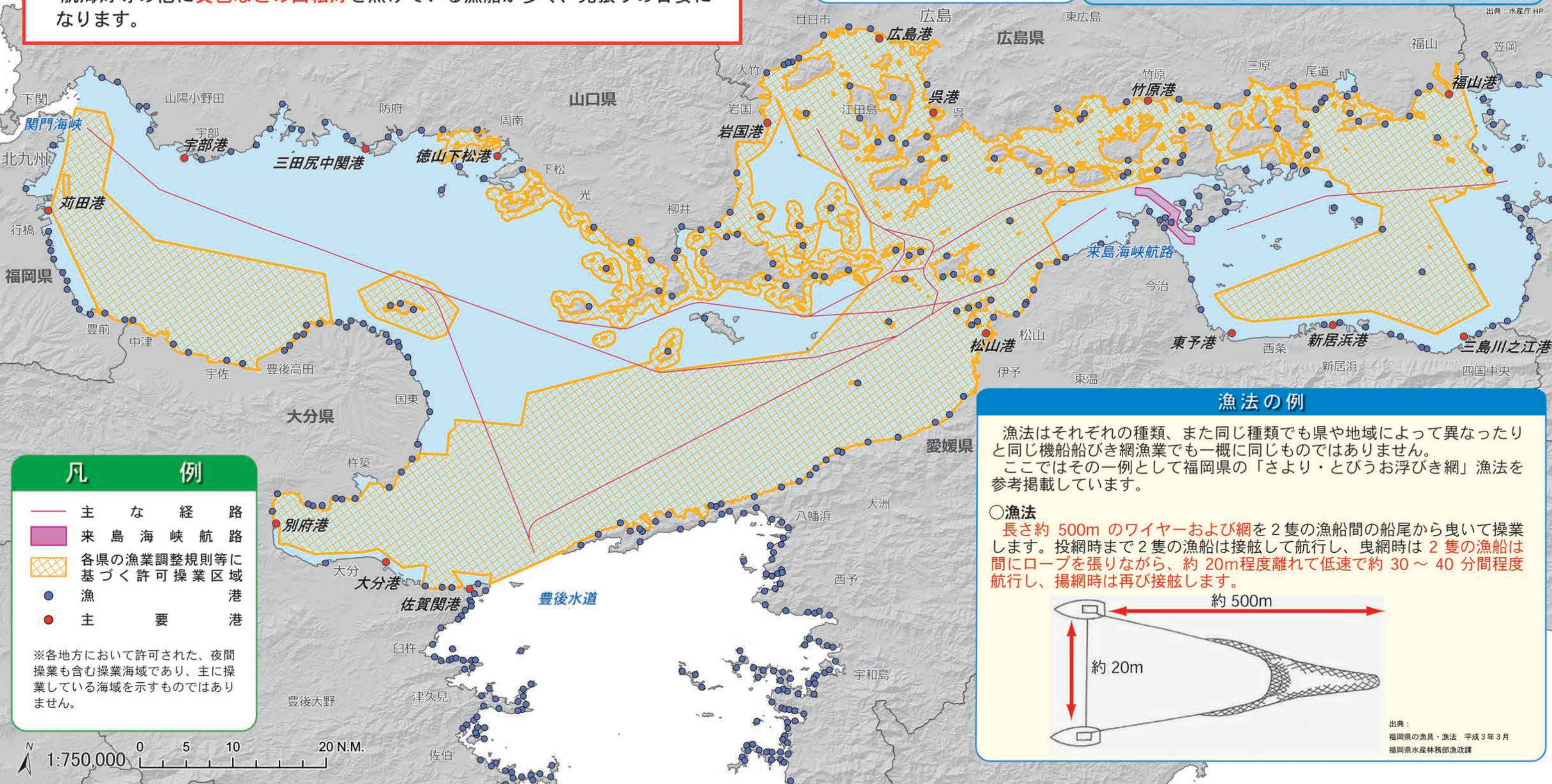
船を拠点として網をひき寄せるか、1隻または2隻間の船尾に網をひき廻して、表層または中層の魚を獲る漁業です。

瀬戸内海西方海域で行われる機船船びき網漁業は、主に船型3～10トン未満の漁船2隻で行われることが多く、それぞれに1～2名が乗っています。漁は地域によって様々な時期、時間帯に行われます。

機船船びき網漁業のイメージ図



出典：水産庁 HP



## 凡 例

- 主 な 経 路
- 来 島 海 峡 航 路
- ▨ 各県の漁業調整規則等に基づく許可操業区域
- 漁 港
- 主 要 港

※各地方において許可された、夜間操業も含む操業海域であり、主に操業している海域を示すものではありません。

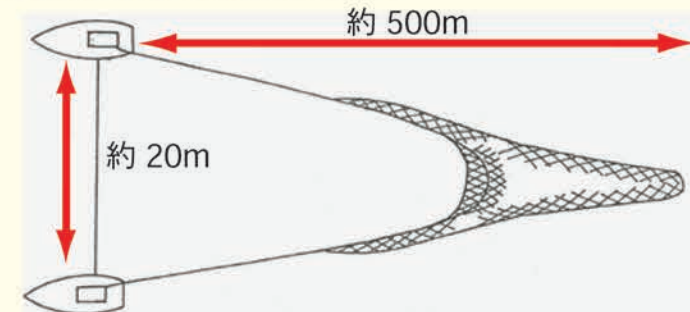
1:750,000 0 5 10 20 N.M.

## 漁法の例

漁法はそれぞれの種類、また同じ種類でも県や地域によって異なったりと同じ機船船びき網漁業でも一概に同じものではありません。ここではその一例として福岡県の「さより・とびうお浮びき網」漁法を参考掲載しています。

### ○漁法

長さ約 500m のワイヤーおよび網を2隻の漁船間の船尾から曳いて操業します。投網時まで2隻の漁船は接舷して航行し、曳網時は2隻の漁船は間にロープを張りながら、約 20m程度離れて低速で約 30～40 分間程度航行し、揚網時は再び接舷します。



出典：福岡県の漁具・漁法 平成3年3月 福岡県水産林務部漁政課



# 刺し網漁業

## 操業中の主な特徴等

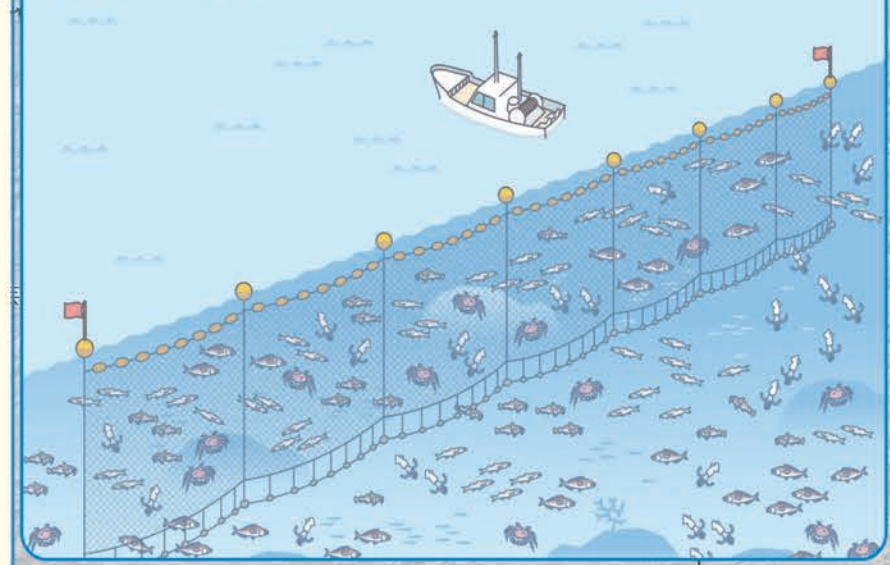
- ・揚網中の漁船は**見張りが十分にできない**ことがあります**注意**が必要です。
- ・投揚網中の漁船は急に舵を切ると転覆の可能性があるため**操船の自由が利かず、避航動作が非常に困難**な場合があります**注意**が必要です。
- ・投揚網中の漁船はワイヤーの張りや海底障害物への網のかかり等から、**後進することがあり注意**が必要です。
- ・**網には両端または一定の間隔で浮標が設置されています**ので、十分に注意して避航して下さい。
- ・地域・対象魚種によって**網の長さ、丈および投網水深は様々**です。
- ・航海灯等の他に**黄色などの回転灯**を点けている漁船があり目安になります。

## 刺し網漁業とは

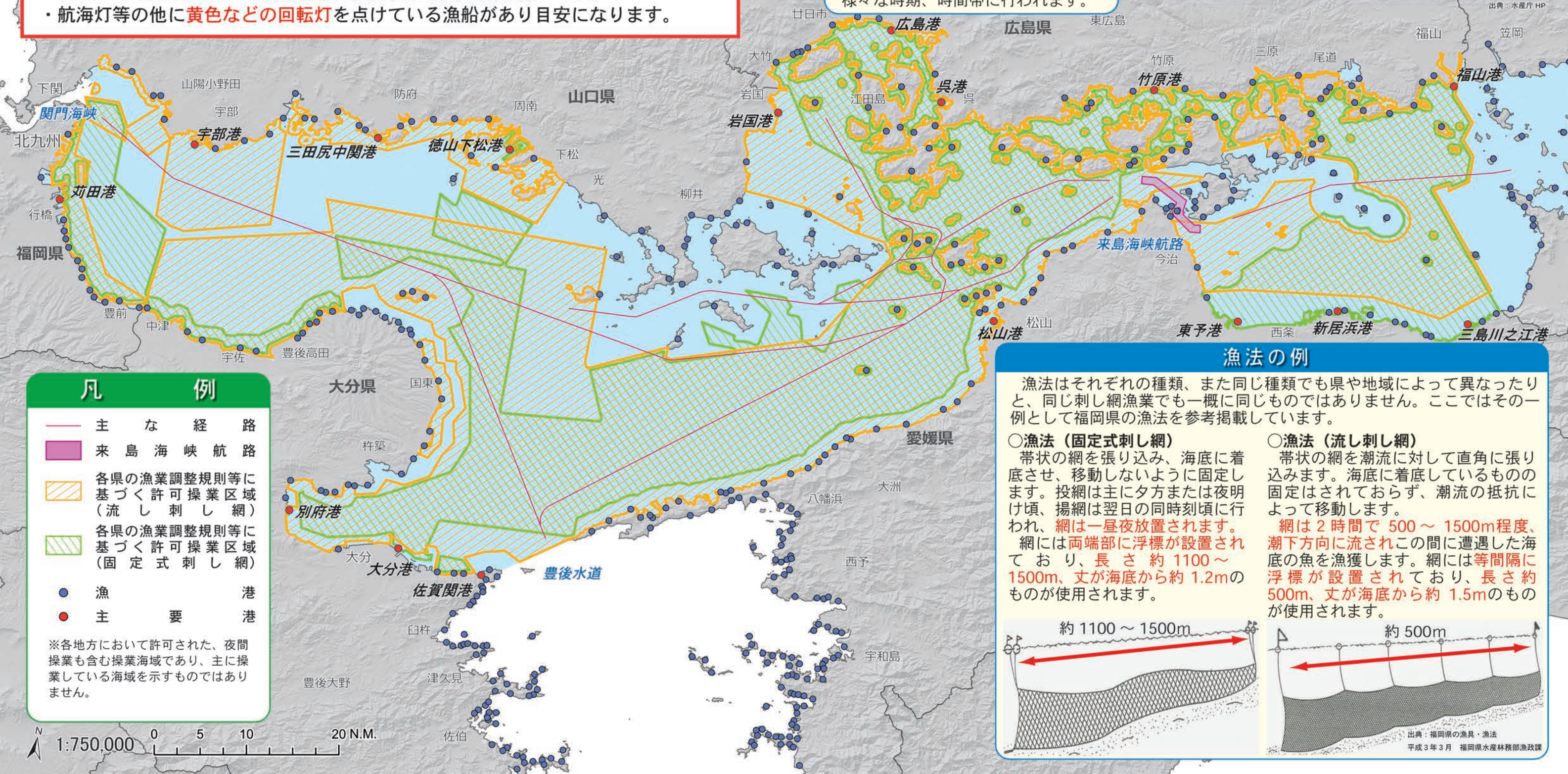
魚の遊泳する場所を遮断するように带状の網を仕掛け、網目に刺させたり、絡ませたりして魚を獲る方法です。網を錨などで固定するものや、固定せずに海面に漂わせるものがあります。

瀬戸内海西方海域で行われる刺し網漁業は、主に船型5トン未満の漁船4～5隻（曳船2隻・補助船2～3隻）で行われ、各船に1～2名が乗っています。魚は地域によって様々な時期、時間帯に行われます。

## 刺し網漁業のイメージ図



出典：水産庁 HP



## 凡 例

- 主 な 経 路
- 来 島 海 峡 航 路
- 各県の漁業調整規則等に基づく許可操業区域（流し刺し網）
- 各県の漁業調整規則等に基づく許可操業区域（固定式刺し網）
- 漁 港
- 主 要 港

※各地方において許可された、夜間操業も含む操業海域であり、主に操業している海域を示すものではありません。

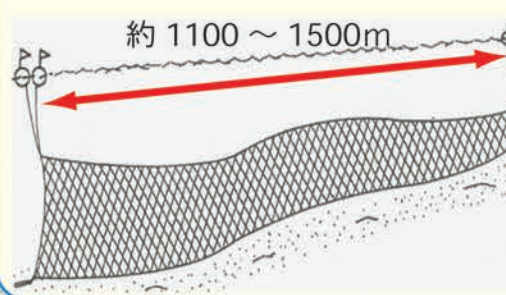
1:750,000 0 5 10 20 N.M.

## 漁法の例

漁法はそれぞれの種類、また同じ種類でも県や地域によって異なったりと、同じ刺し網漁業でも一概に同じものではありません。ここではその一例として福岡県の漁法を参考掲載しています。

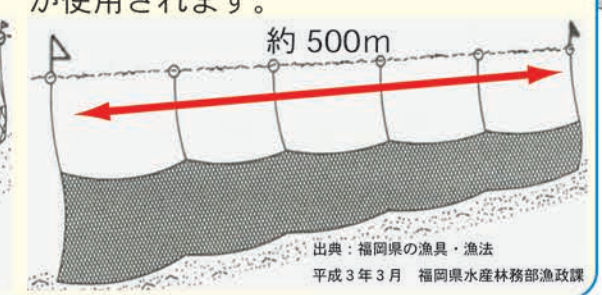
### ○漁法（固定式刺し網）

带状の網を張り込み、海底に着底させ、移動しないように固定します。投網は主に夕方または夜明け頃、揚網は翌日の同時刻頃に行われ、網は一昼夜放置されます。網には両端部に浮標が設置されており、長さ約1100～1500m、丈が海底から約1.2mのものが使用されます。



### ○漁法（流し刺し網）

带状の網を潮流に対して直角に張り込みます。海底に着底しているものの固定はされておらず、潮流の抵抗によって移動します。網は2時間で500～1500m程度、潮下方向に流されこの間に遭遇した海底の魚を漁獲します。網には等間隔に浮標が設置されており、長さ約500m、丈が海底から約1.5mのものが使用されます。



出典：福岡県の漁具・漁法 平成3年3月 福岡県水産林務部漁政課



# ごち網漁業

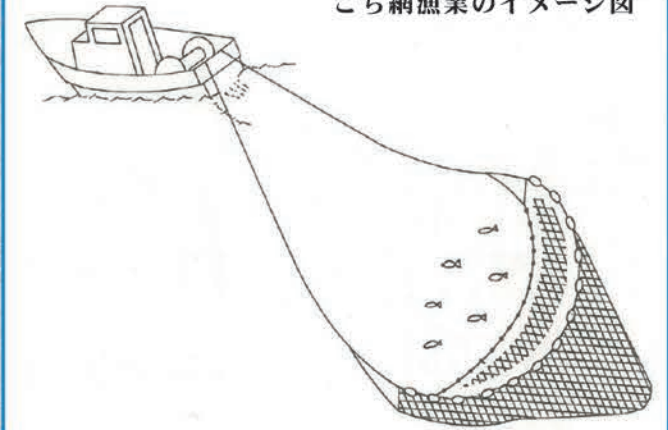
## 操業中の主な特徴等

- ・揚網中の漁船は、**見張りが十分にできない**ことがあり注意が必要です。
- ・曳網、揚網中の漁船は急に舵を切ると転覆の可能性があるため**操船の自由が利かず、避航動作が困難**な場合があります注意が必要です。
- ・揚網中の漁船は網の張りや海底障害物への網のかかり等から、**後進**することがあり注意が必要です。
- ・2隻で曳網している場合、**その間を航行すると非常に危険**です。
- ・航海灯等の他に**黄色などの回転灯**を点けている漁船が多く、見張りの目安になります。

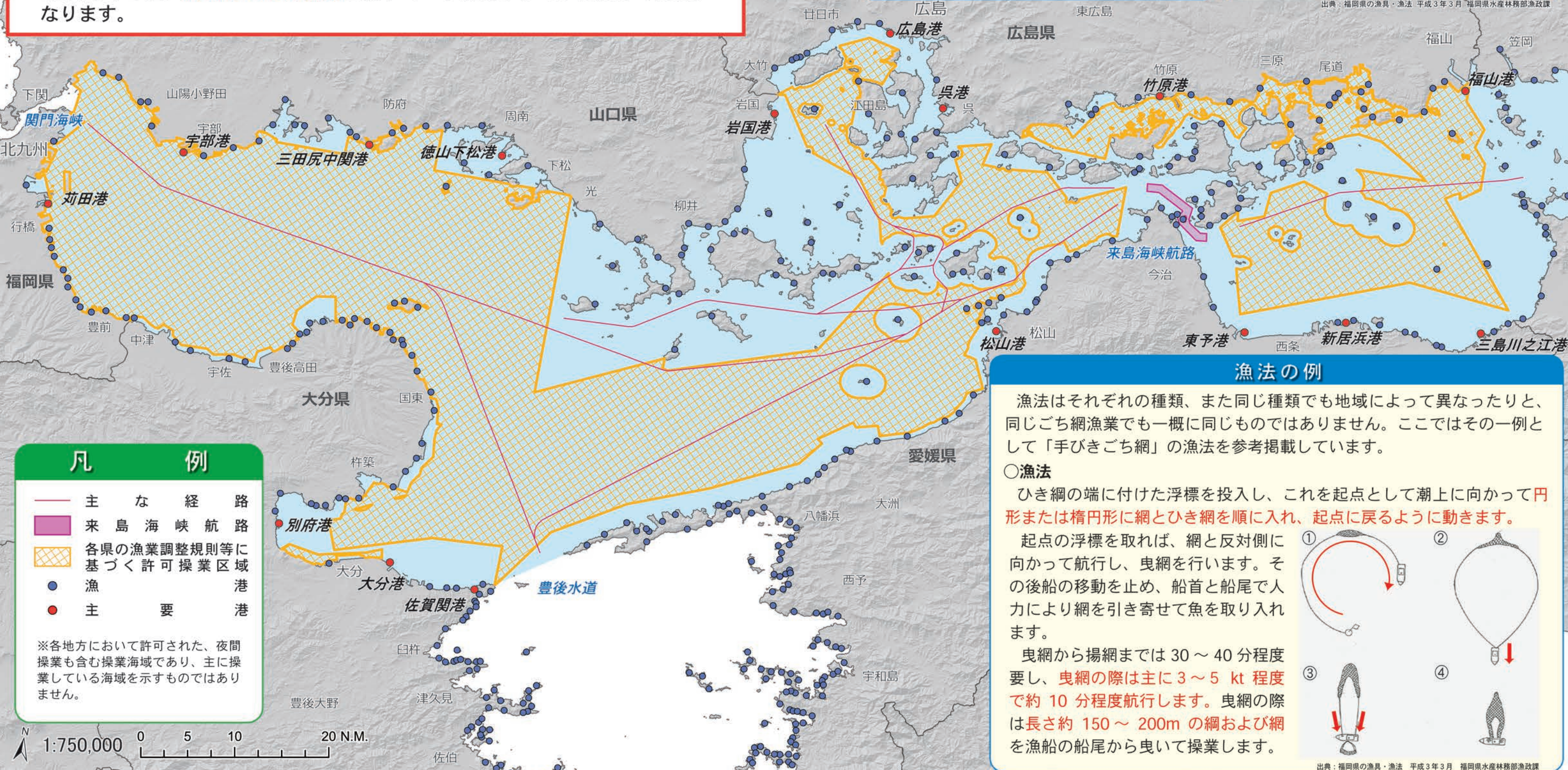
## ごち網漁業とは

手拭状で中央部の膨らむ網と、その両端に結びつけたひき網で包囲形をつくり、それを狭めて魚を獲る漁業です。  
瀬戸内海西方海域で行われるごち網漁は、主に船型3～5トン未満の漁船1隻で行われ、1～2名が乗っています。漁は地域によって様々な時期、時間帯に行われます。

ごち網漁業のイメージ図



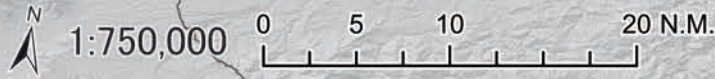
出典：福岡県の漁具・漁法 平成3年3月 福岡県水産林務部漁政課



### 凡 例

- 主 な 経 路
- 来 島 海 峡 航 路
- ▨ 各 県 の 漁 業 調 整 規 則 等 に 基 づ く 許 可 操 業 区 域
- 漁 港
- 主 要 港

※各地方において許可された、夜間操業も含む操業海域であり、主に操業している海域を示すものではありません。



## 漁法の例

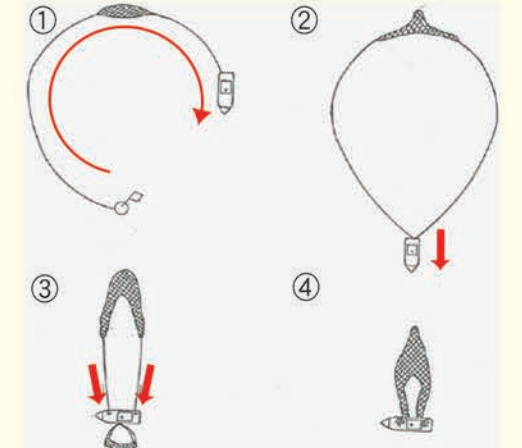
漁法はそれぞれの種類、また同じ種類でも地域によって異なったりと、同じごち網漁業でも一概に同じものではありません。ここではその一例として「手びきごち網」の漁法を参考掲載しています。

### ○漁法

ひき網の端に付けた浮標を投入し、これを起点として潮上に向かって円形または楕円形に網とひき網を順に入れ、**起点に戻る**ように動きます。

起点の浮標を取れば、網と反対側に向かって航行し、曳網を行います。その後船の移動を止め、船首と船尾で人力により網を引き寄せ魚を取り入れます。

曳網から揚網までは30～40分程度要し、**曳網の際は主に3～5 kt程度で約10分程度航行**します。曳網の際は長さ約150～200mの網および網を漁船の船尾から曳いて操業します。



出典：福岡県の漁具・漁法 平成3年3月 福岡県水産林務部漁政課



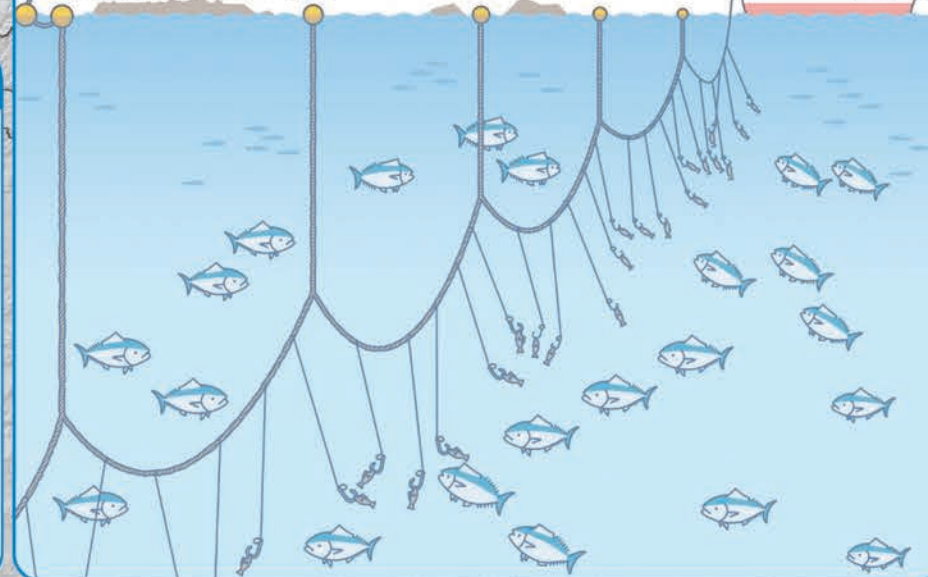
**操業中の主な特徴等**

- ・揚縄中の漁船は、**見張りが十分にできない**ことがあります**注意**が必要です。
- ・投縄、揚縄中の漁船は急に舵を切ると転覆の可能性があるため**操船の自由が利かず、避航動作が困難**な場合があります**注意**が必要です。
- ・揚縄中の漁船はワイヤーの張りや海底障害物への縄のかかり等から、**後進することがあり注意**が必要です。
- ・**幹縄には両端または一定の間隔で浮標が設置されています**ので、十分に注意して避航して下さい。
- ・地域・対象魚種によって**縄の長さおよび中間浮標の有無は様々**です。
- ・航海灯等の他に**黄色などの回転灯**を点けている漁船が多く、見張りの目安になります。

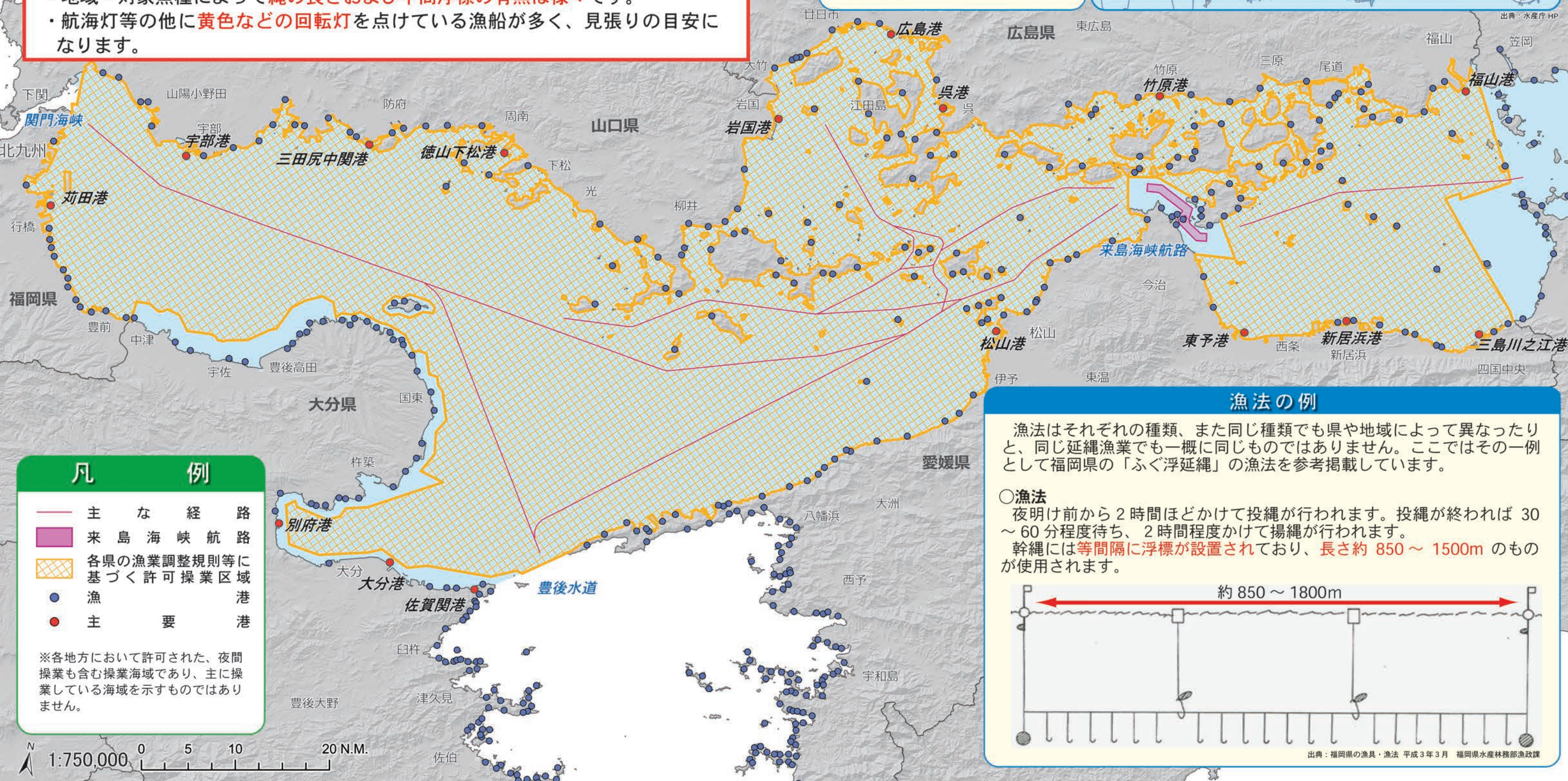
**延縄漁業とは**

一本の幹縄にたくさんの延縄をつけて、延縄の先端に釣り針をつけた漁具で魚を獲る漁法です。  
瀬戸内海西方海域で行われる延縄漁業は、主に船型5～20トン未満の漁船で行われ、2～7名が乗っています。魚は地域によって様々な時期、時間帯に行われます。

延縄漁業のイメージ図



出典：水産庁 HP



**凡 例**

- 主 　　な 　　経 　　路
- 来 島 海 峡 航 路
- ▨ 各 県 の 漁 業 調 整 規 則 等 に 基 づ く 許 可 操 業 区 域
- 漁 港
- 主 要 港

※各地方において許可された、夜間操業も含む操業海域であり、主に操業している海域を示すものではありません。

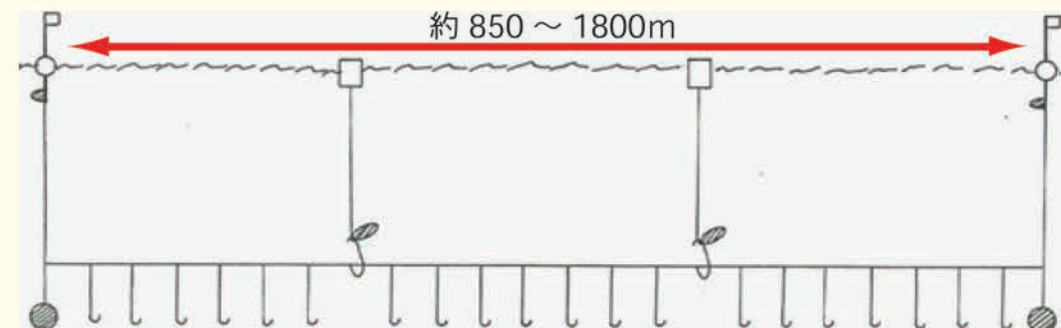


**漁法の例**

漁法はそれぞれの種類、また同じ種類でも県や地域によって異なったりと、同じ延縄漁業でも一概に同じものではありません。ここではその一例として福岡県の「ふぐ浮延縄」の漁法を参考掲載しています。

○漁法

夜明け前から2時間ほどかけて投縄が行われます。投縄が終われば30～60分程度待ち、2時間程度かけて揚縄が行われます。  
幹縄には等間隔に浮標が設置されており、長さ約850～1500mのものが使用されます。



出典：福岡県の漁具・漁法 平成3年3月 福岡県水産林務部漁政課



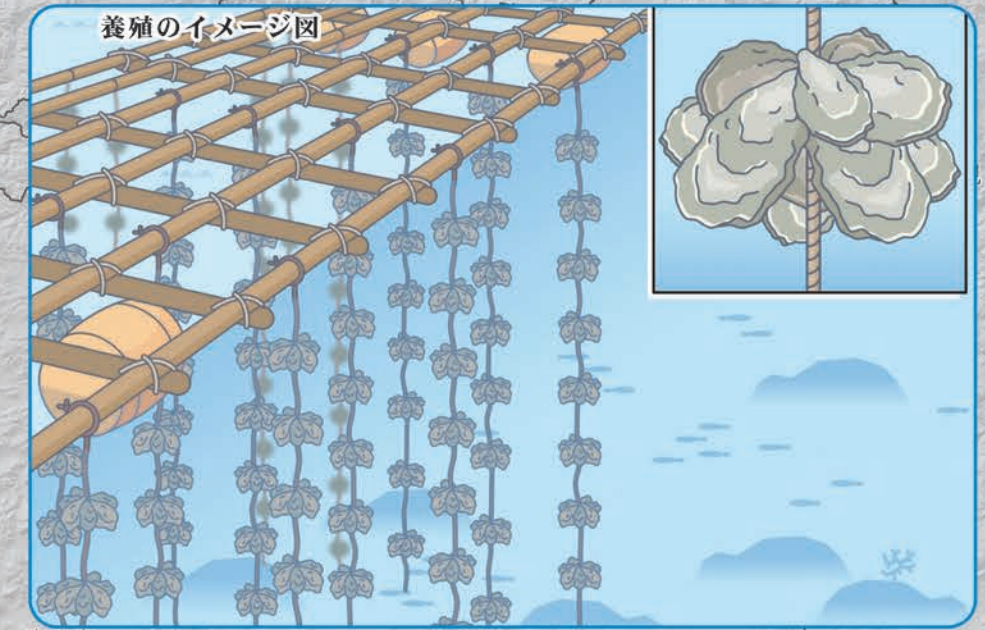
# 養殖

## 操業中の主な特徴等

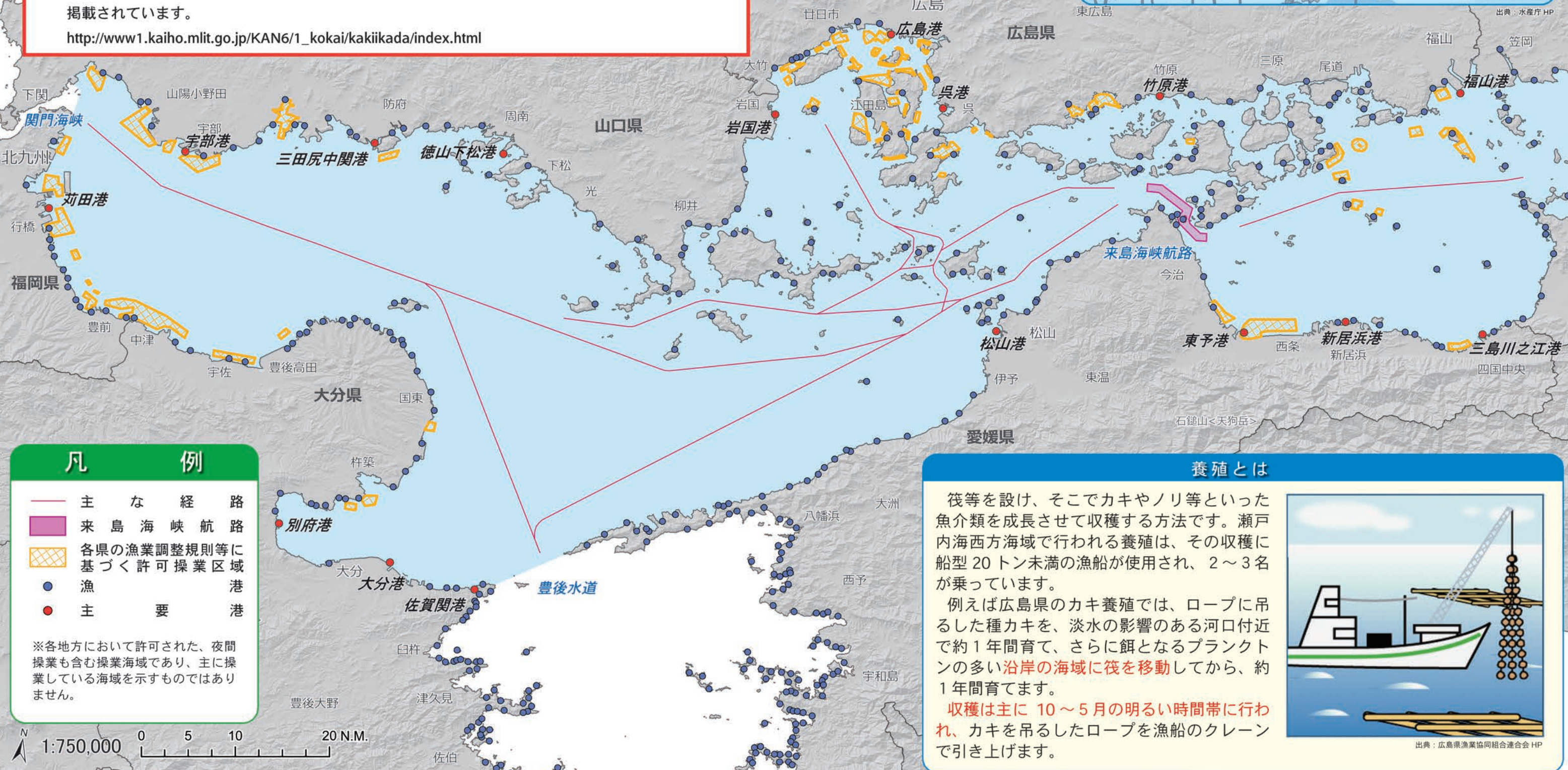
- ・収穫中の漁船は**見張りが十分にできない**ことがあります**注意が必要です**。
- ・筏を曳航中の漁船は急に舵を切ると**転覆の可能性**があるため**操船の自由が利かず、避航動作が非常に困難**な場合があります**注意が必要です**。
- ・収穫中の漁船はクレーンで作業を行うことがあります。この至近を高速で航行すると、**航走波による転覆等の事故に繋がるおそれ**があり、**注意が必要です**。
- ・筏には**黄色などの灯浮標**が設置されているものもあり**目安**になります。

※ なお、広島カキ養殖については以下の第六管区海上保安本部海洋情報部のリンクに詳細な情報が掲載されています。

[http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN6/1\\_kokai/kakiikada/index.html](http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN6/1_kokai/kakiikada/index.html)



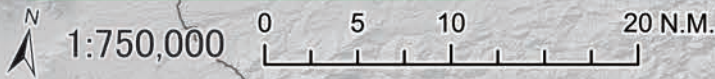
出典：水産庁 HP



**凡 例**

- 主 な 経 路
- 来 島 海 峡 航 路
- 各県の漁業調整規則等に基づく許可操業区域
- 漁 港
- 主 要 港

※各地方において許可された、夜間操業も含む操業海域であり、主に操業している海域を示すものではありません。



### 養殖とは

筏等を設け、そこでカキやノリといった魚介類を成長させて収穫する方法です。瀬戸内海西方海域で行われる養殖は、その収穫に船型 20 トン未満の漁船が使用され、2～3 名が乗っています。

例えば広島県のカキ養殖では、ロープに吊るした種カキを、淡水の影響のある河口付近で約 1 年間育て、さらに餌となるプランクトンの多い沿岸の海域に筏を移動してから、約 1 年間育てます。

**収穫は主に 10～5 月の明るい時間帯に行われ、カキを吊るしたロープを漁船のクレーンで引き上げます。**

出典：広島県漁業協同組合連合会 HP



## 海のもしもは「118番」

「118番」は海上保安庁緊急通報用電話番号です。次のような場合には、「118番」に通報し、「いつ」「どこで」「なにがあった」などを簡潔に落ち着いてお話しください。

- 海難人身事故に遭遇した、または目撃した。
- 油の排出等を発見した。
- 不審船を発見した。
- 密輸密航事犯等の情報を得た。

加入電話、公衆電話、携帯電話、PHS、船舶電話などから利用できます。

### 海と安全に関連する情報リンク先

#### 海の安全情報

(海上保安庁)



全国の海上安全情報や海上気象情報などをご覧いただけます。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/index.htm>

#### 航海安全情報

(第六管区海上保安本部海洋情報部)



瀬戸内海および宇和海の漁業や来島海峡潮流情報などの航海安全情報をご覧いただけます。

[http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN6/1\\_kokai/kokai.html](http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN6/1_kokai/kokai.html)

#### 船舶事故ハザードマップ

(運輸安全委員会)



全国の船舶事故事例やハザード事例などの船舶事故情報をご覧いただけます。

<http://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/>

#### 航海安全情報

(第七管区海上保安本部海洋情報部)



日本海西部および東シナ海の演習や海難情報などの航海安全情報をご覧いただけます。

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/kokai.html>

### お問い合わせ

公益社団法人 日本海難防止協会 TEL:03-3502-2231

URL: <http://www.nikkaibo.or.jp/>

本冊子は上記URLにてダウンロードが出来ます。

